

牛窓道～古道を歩く

本来道とは、人が他の場所へ移動するためにつくられたものです。

自然の山野を人々によって幾度も踏まれるうちに道らしいものができ、その道に手を加え、改修しながら生活道として整備されてきました。

また、馬から荷車、自動車へと輸送手段の変化に合わせた整備も行われてきました。

【昭和初期までの道路網】

瀬戸内市内にも、山陽道をはじめ虫明往来、西大寺往来、津山往来、牛窓往来、牛窓道などと呼ばれる主要道があります。いずれの道も戦後まで使用されてきました。

山陽道は、備前市二ノ樋から瀬戸内市へ入り、吉井

川の左岸を通り八日市、福岡を経て川を渡り岡山へ続く官道です。

虫明往来は、虫明と岡山城下を結ぶ重要な道で山陽道の一日市から福里、佐山を通る北往来と西大寺から今城、本庄、庄田を通る南往来があります。

西大寺往来は、備前市鶴海から佐山を経て飯井、福里、土師と干田川沿いを通り門前から箕輪へ出て西大寺に至る道です。

津山往来は、邑久町土佐から東須恵、牛文、大塚を経



荷車が通れるくらいの十分な道幅
(牛窓道の長船町山田付近、直進すると備前市片上へ至る)

て丸山、長船、坂根を通り弓削から舟で吉井川を渡り万富へ続く道です。

牛窓往来は、岡山京橋から東山、西大寺、千手、鹿忍を通り牛窓港までの官道です。

牛窓道は、片上往来とも呼ばれ、牛窓を起点にして長浜、本庄、東須恵、飯井、大塚、油杉、山田を通り備前市大内で山陽道へ結ぶ道です。

【現在の牛窓道】

公民館講座で牛窓道の一部である飯井から油杉までを歩く機会がありました。出発点となった長船町飯井二反田からなだらかな山道を通り大塚までの道沿いには、十数基からなる大塚古墳群があります。その先の柏山には高札などを掲げた札場跡があります。

終着点の油杉では道から少し山を上ったところに巨石を祀ったところもありました。

牛窓道を含め多くの道は、倒木、雑草で道そのものが埋もれて位置の分からないところも多くあります。そのため、まだ忘れ去られている遺跡などもあるかもしれません。皆さんも往時の行き来を想い、新たな発見を求めに出掛けませんか。

【参考文献】

- ・邑久郡史
- ・長船町史民俗編
- ・牛窓町史民俗編

ホップ・ステップ・ジャンプ

このコーナーは、生涯学習に生き生きと取り組む皆さんを紹介します。皆さんも仲間入りしませんか。

暴漢から身を守る 「護身術クラブ」

暴漢に襲われそうになるなど、突然のトラブルに遭遇したとき、非力な女性や子どもたちは、どうしたらいいのでしょうか。そのときは、逃げることです。大きな声を出して暴漢から逃げることも、もし手を取られたら・・・。

長船町公民館のボランティア室で、受け身の練習をする護身術クラブの皆さん。脇を締めて、相手のひざをねらう棒術や投げ技の練習も行います。

「受け身を覚えたら、投げる原理が理解できます。相手の手をつかむことなく、」



「えい!」と力強くローキックの練習

「ぶっそうな世の中、自分の身を守ろうと始めました」と、親子で護身術を習っている長尾洋子さん(長船町服部)。子どもたちも、大きな掛け声とともに、けいこに励んでいます。

★活動日時 金曜日

午後7～9時

★活動場所 長船町公民館

★会費 月大人3千円、子ども2千円

★代表 長尾洋子さん

☎0869-26-5821

礼節を重んじて

「瀬戸内古武道 スポーツ少年団」

瀬戸内古武道スポーツ少年団の練習日。小・中学生の団員29人が、大きな掛け声を出し、練習に励んでいます。

面・胴・グローブなどの防具を付けて行うグローブ組手を主に、実践空手や硬式空手、型の練習を反復して行い、技に磨きをかける団員たち。安全性の高いグローブ組手では、激しい打撃の応酬の中で、相手の動きを見極め、的確に有効打を決めています。

「礼節を重んじて」。靴をそろえるところから始まり、一つ一つのあいさつなど、基本的な礼儀・作法をしっかり身に付けています。「厳しい練習で忍耐・精神力を鍛え、練習が終われば親子のように仲良く楽しく」と指導者の古作浩之さん。

クリスマス会などの楽しいイベントもある同団では、ただ今、団員募集中です。礼儀作法が養われ、集中力も身に付く空手を一緒にしてみませんか?

★活動日時 火・土曜日

午後6～8時

★活動場所 長船スポーツ公園体育館

★会費 月2,500円

★連絡先 岡崎映香さん

☎0869-66-8972



みんな仲良しの瀬戸内古武道スポーツ少年団の皆さん



激しい打撃の応酬となるグローブ組手